

総研大-サンクトペテルブルク工科大学 合同夏の学校

田村直樹

総合研究大学院大学（総研大）核融合科学専攻では、昨年度からロシアのサンクトペテルブルク工科大学（SPbSTU）と合同でプラズマ・核融合に関する夏の学校を開催しています。この夏の学校の開催経緯は、以下のとおりです。総研大核融合科学専攻の卒業生で、現在はSPbSTU所属のPavel Goncharov研究員から、ロシアの大学でも国際化は極めて重要な課題となっており、その一環として、これまでSPbSTUが単独で開催してきたプラズマ・核融合に関する夏の学校をぜひ総研大と合同で実施させてほしいという熱心なお誘いがありました。総研大としても、総研大核融合科学専攻を海外のより多くの学生に知ってもらう絶好の機会であることから、両大学による合同開催の実現に至りました。

昨年度はSPbSTUで開催し、今年度も同校で開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、TV会議システムを使用したオンライン形式に切り替え、2020年7月13日から24日まで開催しました。今年度は、パキスタン、ハンガリー、中国、ロシアの計4ヶ国から合計39名の参加がありました。昨年度の参加国数9ヶ国より大幅に減ってしまいましたが、参加者は昨年度より少し増え、学部生から博士課程学生まで、様々なバックグラウンドを持った学生が聴講しました。今回は、SPbSTUのPavel Goncharov研究員、国際原子力機関（IAEA）のMatteo Barbarino氏、総研大核融合科学専攻の鈴木康浩准教授と筆者の合計4名が講師として、オンライン形式による講義を行いました。まずBarbarino氏からIAEAにおける核融合に関する活動についての紹介があり、Goncharov研究員よりプラズマの基礎から磁場閉じ込め核融合に至るまで幅広く、基礎的な講義が行われました。鈴木准教授は、磁場閉じ込め核融合の紹介から電磁流体力学的不安定性とプラズマの輸送について、筆者は、日本における核融合研究の現状及びプラズマ分光について、専門的な講義を行いました。参加した学生から、講義後すぐにTV会議システムのチャット機能を通じて質問があり、それに対して講師がチャットで参考論文を示しながら答えるといったオンライン形式ならではの光景も見られました。参加した学生からは、総研大核融合科学専攻に大変興味を持ったといった意見が寄せられており、今後このような学生たちが総研大核融合科学専攻に志願し、入学してくれることを願っています。

総研大核融合科学専攻とSPbSTUとの合同夏の学校は来年度も引き続き開催する予定です。

（高温プラズマ物理研究系 准教授）



オンラインでの開校式の様子

「新プラズマシミュレータ披露会」を開催しました

核融合科学研究所は、新プラズマシミュレータ（プラズマシミュレータ雷神）の運用開始を記念して、8月29日（土）に披露会を開催しました。披露会では竹入所長、小森自然科学研究機構長の挨拶に続き、上野文部科学副大臣、古屋衆議院議員、加藤土岐市長から祝辞をいただきました。



上野文部科学副大臣、古屋衆議院議員、小森機構長と竹入所長らによる記念撮影



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS
No.255

2020年8,9月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601
URL : <https://www.nifs.ac.jp/>
E-mail : nifs-news@nifs.ac.jp

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。